

常務や支配人は

他業兼務に罷りならぬ

新銀行法實施すれば……

新銀行法が實行される事になる
ないであらうと。

出張所と

出張所と 代理店を総て
認可事項とする結果新法の施行
以前に現在の出張所、代理店は
一應各銀行から報告せしめ新に
これを認可すべきや否やを決定
料とするため過般同地方の港灣

東北各地の
港灣調査

仙臺鐵道局運輸課では三陸地方

港
灣
調
查

藏氏は青年團の發生の歴史を説き、政治運動と青年團との關係を述べ直ちに懇親會に移り盛會裡に同十時散會したと。

下層階級を救ふ

公益質屋の建設

平町にも一つ位は欲しいと
……多田井質店主は語る

他業兼務

他業兼務 を禁示し兼務する者は大藏大臣の認可を要することとなつて居るので、現在の各銀行の常務又は支配人にし、て他業兼務をなせる者の實情を調査する等の準備もあるので、新銀行法の實施は昭和三年一月からになるであらう。

幽靈病院

愈々窮す

人氣日々に失

金をむさばるためには手段を選ばぬといふ宇佐美某の経営である幽霊病院も過般宇佐美が藥劑師組合や醫師組合を無視して不正な点があつたので遂に六十圓の罰金罰に處されてから人氣頗る失墜して経営困難に陥つた状態で入院患者は皆無、それに外來患者としてもほとんど其影さへ認められない實狀であるから同病院の存在もそう永くは續か

公益質屋

公益質屋 は毎年十ヶ所宛の建設を認めその地点は都會地では貧民窟の中央となし運轉資金として年四分八厘の低資を融通する・而して公益質屋の建設は下層階級の金融を圓滑にし質屋の改善を圖るもので生業資

騰貴の氣勢

昨年中における物價の趨勢は低落步調を續け僅に六、七の兩月

登場人物

石城の政治家
平の實業家
平の藝妓
小名濱の或男

列車漫談劇
(一)

騰貴が多少騰貴の傾向を示したに過ぎざる状態であつた、この低落步調は主として爲替の急激なる騰貴と一般の不況に基く需要減退によつたものであるが、本年に入つてからは一月中の卸賣物價が七毛方騰貴したのを始め二月十五日現在の小賣物價も二分七毛方騰貴し、物價の大勢もこの底を入れて急激なる反騰はな

いとしても、漸次騰貴の氣勢に轉ずるのであるため、この需要の減退が

ある程度まで
◆：相殺されて、物價の低落を止めてゐる實情にあり、しかも建築材料は冬期の需要不振期を脱して追ひ／＼これが需要を促され、織物界も綿織物を始めとして毛織物中にもモスリン、セルの如きものの價格騰貴は容易に想像し得られ、絹製品また何れは騰貴すべき可能性ある等織維工業品は概して
◆：騰貴すべき、大勢にある、ある。

更に食料品も米價の騰貴を中心にして一般に騰貴するものと推し得られるから今後の物價の趨勢は漸騰の道程に上るものと見られ、しかしながら物價騰貴の歩調を示すとして、それは根本的原因によつて騰貴するものではなく、右述ぶる如き人為的諸對策によつて市價の維持乃至は騰貴がもたらされるところでは注目しすべきところである。

文藝講演會

廿七日午後六時より

文藝戰線一派の新進作家の講演

株名	拂込額	仲值
福島農工	二〇、〇〇	二五、〇〇
同新	一五、〇〇	一九、〇〇
百七銀行	五、〇〇	五、五〇
同新	一五、〇〇	一三、〇〇

福島貯蓄	福島商銀	平銀	警東銀行	警越銀行	四倉銀行
二五〇〇	三七五〇	五五〇〇	五五〇〇	五五〇〇	五五〇〇
一五〇〇	三七〇〇	五五〇〇	四五〇〇	四五〇〇	一〇〇〇

三春銀行	白河商	本宮銀行	會津銀行	二本松銀行	安達實銀	郡山銀行	同
五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	二五〇〇
四〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	六〇〇〇	四〇〇〇	五〇〇〇	二六〇〇

田島銀行	小濱實業	磐城實業	同新	百一銀行	川俣銀行	須賀川銀	郡山商業
五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	二五〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	二五〇〇	二六〇〇
四〇〇〇	四〇〇〇	四三〇〇	一九〇〇	四五〇〇	三七〇〇	四二〇〇	四二〇〇

同第一新	本宮電氣	同新	郡山電氣	會津電力	同第二新	同第一新	福島電燈
五〇〇〇〇〇	五〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇	五〇〇〇〇〇	五〇〇〇〇〇	五〇〇〇〇〇	五〇〇〇〇〇	五〇〇〇〇〇
五〇〇〇〇〇	六〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇	五〇〇〇〇〇	五〇〇〇〇〇	四〇〇〇〇〇	五〇〇〇〇〇	五〇〇〇〇〇

四倉電氣	白河電燈	植田水電	新沼電氣	請戸川電	二本松電	同第二新
五〇〇〇	五〇〇〇	一七五〇	三三〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	二二〇〇
五〇〇〇	四七〇〇	一六〇〇	二四〇〇	四〇〇〇	五二五〇	五七〇〇

飯坂電車	日本網二	福島羽撚重	日東紡績	桑折電氣	同新	大沼電燈
五〇〇〇	四〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	四〇〇〇	二五〇〇	五〇〇〇
二〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	三六〇〇	三〇〇〇	一四〇〇	二六〇〇

餘錄

弘道さんは、先き程東京市長になつたが、年俸は總理大臣

第二十一回

產婆看護婦生徒募集

平町南町

平産看護婦學校

卒業年限三ヶ年

申込三月三十一日マデ

私立藤田裁縫女學校生徒募集

一、募集人員左ノ如シ

1 普通科百五十名 2 高等科若干名

3 速成科三十名 4 手藝科若干名

5 高等女學部五十名 6 高等女學部若干名

二、入學手續

各(部)共入學ヲ許ス、志願者ハ本校規定在學證書ニ

適當記入捺印ノ上二月十五日ヨリ三月三十一日迄ニ平

町私立藤田裁縫女學校ニ提出スベシ

◎定員超過ノ際ハ在學證書提出ノ順ニ採用ス

◎詳細ハ本校宛學則請求セラルベシ(返信封二封入)

私立 藤田裁縫女學校

藤田裁縫女學校 本分校

生徒募集

募集人員

高等女學部 五十名

師範部 五十名

技藝部高等科 百五十名

速成科 五十名

入學 師範部並ニ技藝部、速成科ハ高等小學卒業以上

資格 科ハ尋常小學卒業以上ノ學力アルモノ、高等科

願書提出 三月三十一日限り

福島縣平町 私立平陽實科女學校

良品廉賣に勝る商略なし!!!

和洋銅鐵 釜屋商店

金物問屋 釜屋商店

確實敏捷は久の生命なり!!!

富國徴兵保險相互會社

植田事務取扱所

洋酒罐詰 大平喜治商店

植田町(電話七一七)

婦人病血の道妙藥

滋強第一

本舖 植田町(電話七一七)

代理店 山邊野藥局

平町南町七七

山野邊義政法律事務所

電話六二五番

風の吹く日...御心配ではありませんか

日本火災保險株式會社代理店

中野甲藏

思ひ立つたら...すぐ御契約なさい

平町播磨小路二六

吉田廣三郎 店商

電話六五九番

漆器の御用なら

平町一丁目

和久井屋漆器店

電話四〇五番

平町字田町

高久病院

電話五一三番

院長 醫學士 高久 忠

副院長 新潟醫學士 赤羽 清

藥局長 藥劑士 佐竹 菊雄

第二病室増設入院隨時

内科 小兒科

花柳病科

藤沼醫院

平町紺屋町

電話平陽五〇七番

酒類 平町材木町

醬油 綠川酒店

松葉の生液 製造販賣

石城郡神谷村大字鹽

片寄鶴次郎

肺病、リウマチ、肋膜炎、ゼンソク、中風

神經病、腦病、神經衰弱、心臟、結核

動脈、硬化、胃腸病、腺病質等は卓効有

第四決算報告

資産之部

未拂込資本金 三、七、五〇〇、〇〇〇

諸債、付金 六、二、九、五、〇〇〇

他店へ貸 一、九、二、四、七、五〇

諸所有物勘定 四、九、六、三、九、五〇

營業所建築假拂金、六、四、四、〇〇〇

奥羽銀行同盟會基本金 三、五〇〇、〇〇〇

預金及現金 一、九、一、一、七、一〇

合 計 一、二、五、五、六、五、〇〇

負債之部

資本金 五、〇〇〇、〇〇〇

諸積立金 三、七、三、三、〇〇〇

諸預り金 五、〇、〇、七、七、八〇

他店ヨリ借 六、二、四、八、一、五〇

未拂利息未拂割賦金及 一、六、七、〇、〇〇〇

未拂利息未拂割賦金及 一、六、七、〇、〇〇〇

當期純益金 一、〇、二、三、九、〇〇

合 計 一、二、五、五、六、五、〇〇

利益金處分案

金五千壹百圓 諸積立金

金七千九百六拾八圓七拾五錢 重役賞與金

金六千四百四拾五圓 株主配當金

右之通り 後期繰越金

昭和元年十二月卅二日

石城郡四倉町

株式 四倉銀行

頭取 吉田保之助

第一工場新築落成

平町研町

吉村製綿店

店主 吉村安次郎

電話二五七番

平町關の上

強口吳服店

電話四〇一

製綿工場併設

京染の權威

青木京染商店

京都市岡崎北御所町

株主として會社との間に密接高低する場合と、綿糸であるに於ける特殊の事情が株價を支ら五十錢高くなつた折柄、鐵道の關係を保つて行ふとする者は、銅であるとか云ふ特殊の物配する場合に於ては、特に其會の納炭も昨年より平均三十錢方